芸術祭 入賞作品

第14回香美市芸術祭が10月1日から11月24日にかけて開催され、文化展のほか、芸能大会や社交ダンス発表会、土佐山田町合唱団定期演奏会などが行われました。

【写真審査会】
（審査員　島本工人氏）

▲特選「幼武者」明石 正

▲褒状「野の旅」清遠 久夫

▲褒状「きみは だあれ？」森元 律

▲褒状「感謝の一杯」岡村 雄策

▲特選「気分爽快」前田 鈴代

▲褒状「激写」横山 豊

▲褒状「スタッフ大忙し」岡本 容子

▶褒状「朝な夕な」尾立 照子

▶特選「陽炎」[illegible]

短歌会・俳句会

【短歌会】（選者　岡崎桜雲氏）

特選　嫁の地位なかりし頃を農婦たりき　デイケアの卓に手指みせ合ふ　大岸由起子

特選　再就職に峡を出でゆく息(い)の車(こ)　最初のカーブを曲がりて行きぬ　吉本　悦子

褒状　新聞を隅からすみまで読みました　心温もる記事を求めて　古川　安子

褒状　言い争ふことは一度もなかつたと　夫は呟く柩の兄に　都築　初代

褒状　思はずも床(ゆか)に落ちたる筆のあと　泳ぎゐるなりお玉杓子か　町　耿子

褒状　子育てに迷う娘よりのメールあり　五十年前とは違うご時世　梅原　婀水

褒状　竿につく雨だれ光るを見てをりぬ　夫と母はショートステイに　森本　節子

高点賞　ミサイルも地震も忘れひたすらに　千代紙の籠つなぎ合はせり　前川　竜女

【俳句会】（選者　山本呆斎氏）

特選　欠け古りし糠味噌壷や敗戦忌　佐竹　洋子

特選　十二人子を得し祖母の墓洗ふ　乾　真紀子

褒状　桃吸ふてあれま今年も生きてゐた　津田吾燈人

褒状　寄り添いて米寿をめざす冷奴　古川　信子

褒状　噂では藥賣の子夏芝居　明石　韮生

褒状　長雨や刈り取る籾に臭いあり　笹岡　英世

褒状　顔洗う水の重さよ敗戦忌　樫谷　雅道

高点賞　七夕や老後豊かとかきにけり　坂元　道子